



イチョウの木／白糠(赤平神社)

主な内容

- ごあいさつ 1
- 表紙写真の紹介 1
- 地質調査 ～2020年10月現在～ 2
- 周辺整備作業 ～2020年度の概要～ 2
- 特集「PR施設の仕事」～トントウビレッジ～ 3
- お知らせ 4
- 東通ヘッドオフィスの紹介 連載企画(その2) 4
- 東通村を知りたい～人材育成編～ 5
- 地域イベントへの参加について 5

QRコードを使ってアンケートに応募しよう!

- ハガキ又はQRコードでお答えいただいた皆さまに、粗品をプレゼントします。さらに、抽選で10名様に、今回取材した小寺さんオススメの「べこもち作りキット」をプレゼントします。
- スマートフォンなどでQRコードを読みとることで、かんたんにアンケートに回答できるようになっておりますので、ぜひご応募ください。



応募締め切り 2020年12月10日(木)

◆誌名「ゆきしろみず」とは、雪どけ水のことをいいます。雪どけ水は静かに大地に流れ入り、浸し、潤します。私どもも雪どけ水のように地域に浸透し、一体となっていければという願いが込められています。

ごあいさつ

日頃より当社事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

私たちは、昨年3月に策定した青森行動計画においてお示ししている6つの基本姿勢(※)に基づき、一日も早く建設再開の見通しをお示しすると共に、地域の皆さまからのご意見・ご要望に真摯に向き合い、地域と共に持続的な発展に貢献できるような取り組みを行ってまいります。

引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

※【青森行動計画：6つの基本姿勢】

1. 安全性の追求
2. 原子力事業の推進
3. 地域に根ざした事業推進体制の構築
4. 持続可能な地域の共創
5. 原子力人材の育成・確保と技術の継承・発展
6. 積極的な情報発信・対話と主体的な行動の強化

常務執行役 青森事業本部長

宗 一誠

東通原子力建設所長

太田 武

質問コーナー



Q. 小さい頃は、どのような子供でしたか？

A. 恥ずかしながら、忘れ物が多い子でした。小学校時代、集団登校の集合場所での遊びに夢中になり、そのままランドセルを忘れて登校した事も。。。(良い子の皆さんはマネしないでね！)。

今はとても慎重に段取りするので、そういう事は無くなりました(笑)



宗本部長

A. 走るのが大好きな子供でしたね。放課後のケードロ(警察と泥棒ごっこ)が大好きで、警察側でひとたび「アイツを捕まえよう」と狙いを定めると、どこまでも、いつまでも「泥棒」が諦めるまで学校中を追いかけ続けるので、「イヤなヤツ」だったと思います(笑)



太田所長



表紙写真の紹介



本号表紙写真のスポットを紹介します。

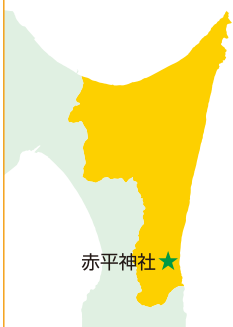
白糠地区^{あかひら}を歩いていたら、赤平神社の前に綺麗なイチョウの木を見つけました。

こちらは、国道338号線より旧南部中学校沿いを山側へ向かっていくと見えてきます。

神社の佇まい^{たたず}と秋空に映えるイチョウの木の葉がとても美しく感じました。



(2019年11月撮影)



赤平神社★

地質調査 ～2020年10月現在～

東通原子力発電所の早期建設再開を目指して、本格的な地質調査を実施しています。

●ボーリング(掘削)による地質・地質構造の調査

- 敷地の地質・地質構造の把握をするため、敷地高台エリアを中心に地下のボーリング調査を継続して実施しています。
- これらの調査により、より安全に優れたプラント設計を追求するとともに、サイト内における用地や設備の将来的な活用のあり方に必要な材料を収集していきます。

●試掘坑による地質・地質構造の調査

- 2019年1月より立坑掘削、同年5月からは人が坑内に入って調査するための横坑掘削を実施しています。2020年度も引き続き調査を進め、地下の地質・地質構造の把握に取り組んでいきます。

〈用語解説〉・立坑(たてこう):垂直方向に掘られた地下の穴
・横坑(よここう):水平方向に掘られた地下の穴



ボーリング調査(2020年9月撮影)

周辺整備作業 ～2020年度の概要～

周辺整備作業とは、本格工事の際に必要な作業ヤードの整備や、建設途中の設備の維持・管理のための作業のことです。



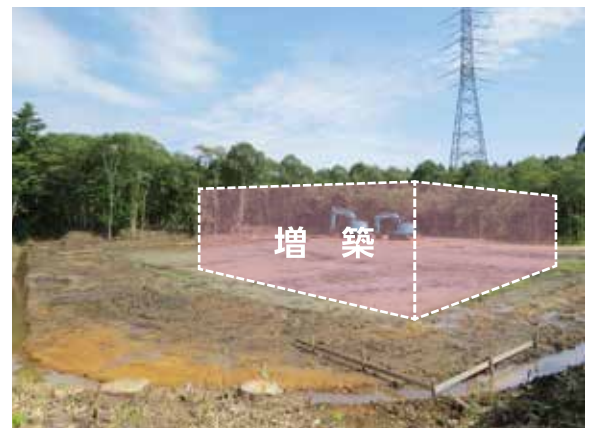
A. 発電所南側ヤードの盛土造成

建設するために必要な作業エリアを造成しています。造成にあたっては、敷地の中で発生した残土にセメントを混ぜることで、建設に必要な強度を確保しています。



B. ボーリングコア収納倉庫の増築

採取したコアを収納するための倉庫を昨年度に2棟増築しており、今年度はさらに1棟増築する予定です。



〈用語解説〉・ヤード:作業場 ・ボーリングコア:地下の地質や地質構造を調査するため、地中をボーリング(掘削)し、岩石を採取した長い円柱状の地質サンプル



東通原子力発電所サイト全体(2020年9月撮影)



トントウビレッジとは？

東北電力(株)と東京電力ホールディングス(株)が共同で運営する東通原子力発電所のPR施設で、1999年10月にオープンし、今年で21年を迎えました。施設内には、原子力発電の仕組みがわかる「原子力コーナー」や「展望室」、森について遊びながら自然と親しみ学ぶことができる「しんがく館」や「しんゆう館」、自然観察ができる散策路「エデュートープ」などが設置されています。今回は、この施設でお客さまのご案内をさせていただく「アテンダント」にスポットを当て、普段目にする事ができない仕事の一面や、ここで仕事をする思いなどを紹介します。



業務の紹介



〈受付〉

お客さまを笑顔でお迎えします。下北地域の観光について尋ねられることも多く、初めてご来館される方にも親近感を持っていただけるよう、親切・丁寧な対応を心がけています。



〈イベント・カルチャー教室などの打ち合わせ〉

イベントやカルチャー教室のアイデアを全員で出し合います。お客さまに喜んでいただけるイベントを提供できるよう日頃からアンテナを高くトレンドを取り入れ、イベントの数か月前から準備を進めています。



〈館内の装飾・模様替え〉

季節に合わせて館内の模様替えをしています。装飾品の一部は、アテンダント手作りのもので、お客さまの目に留まるようなデザインを考え作っています。



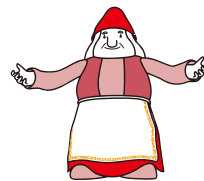
〈館報(森の声)作成〉

イベント・カルチャー教室の告知や実施した内容などを盛り込み、誤字やデザインなどの厳しいチェックのもと、定期的な作成し発行しています。東通村内を中心とした教育機関などに配付しているほか、ホームページでもご覧いただけます。



〈館内のご案内〉

ご予約のお客さまに、展望室で発電所の概要を説明したり、館内の展示物を使用して原子力発電のしくみなどを説明しています。お客さまのニーズに合わせて案内コースを考え、わかりやすい説明ができるよう努めています。



〈エデュートープ情報の作成・掲示〉

施設内に生息する季節の草花を写真に収め、特徴や名前の由来などを紹介する「エデュートープ情報」として館内に掲示しています。

※エデュートープとはエデュケーション(教育)とビオトープ(生物生息空間)の合成造語です

トントウビレッジ アテンダントの
皆さんにお聞きしました!

お客さまのご案内をするアテンダントは、まさにトントウビレッジの顔とも言える存在。アテンダントの皆さんにここで働く意気込みや、仕事への思いをお聞きしました。



● 仕事をする上で気をつけているところはどこですか？

原子力発電に関する情報をお客さまにわかりやすくお伝えできるよう、日々、エネルギーに関する情報収集と内容理解に励み、ご来館いただいたお客さまにご満足いただけるよう努めています。

● 仕事をしていて「やりがい」を感じるのはどんなときでしょうか？

「原子力発電のことがよくわかった」とご案内したお客さまに喜んでいただいた時や、自分の担当しているイベントやカルチャー教室の企画でお客さまが楽しんでいる姿を見た時です。また、アンケート用紙に「また来たい」「楽しかった」といった言葉が書かれていた時にはとても嬉しく、やりがいを強く感じます。

● どんな職場だと感じていますか？

笑顔が絶えず和気あいあいと仲良くやっています。アイデアや意見を自由に話せる環境があり、お客さまに楽しんでいただくことはもちろん自分たちも楽しみながら仕事ができるため、とても居心地が良く長く仕事ができる職場です。

● 読者の皆さまへひとことお願いします。

トントウビレッジは原子力発電のみならず、自然学習やお子さまの遊べるコーナーなどもある楽しい施設です。皆さまのご来館を心よりお待ちしております!



ホームページ / <http://www.tonttu-village.jp>

トントウビレッジ

検索



- 2020年8月31日
東通原子力建設所における保安規定認可申請書の補正について
- 2020年9月18日
東通原子力建設所における保安規定認可について



プレスリリース
詳細はこちら!



東通ヘッドオフィスの 紹介

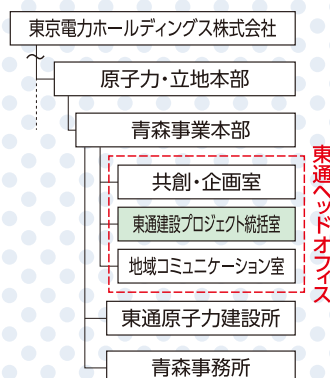
連載企画 **その2**

前号で紹介した「共創・企画室」に引き続き、第2回目は「東通建設プロジェクト統括室」です。

今回は、田中室長に業務内容をインタビューしながら、働く社員を紹介します!

※このコーナーは、2019年7月に新設した組織「3つの室」について、3回にわたり連載するものです。

組織図



田中室長インタビュー

Q. 「東通建設プロジェクト統括室」では、どのような仕事を しているのでしょうか?

福島第一原子力発電所の事故を教訓に、東通原子力発電所が世界一の安全性を有した発電所となるよう、設備設計や全体計画の検討を行っております。

Q. 東通村に住んでみて思ったことは?

北陸の海岸近くで育ったため小田野沢での生活に馴染んでいます。おいしい魚を頂けることが何よりうれしいです。

Q. これからの目標や展望はありますか?

地域の方々に「これなら大丈夫!」と言って頂けるような計画を青森事業本部・建設所社員一体となって立案し、工事の再開を早期に実現したいと思います。

また、日常生活においても地域の方々とのふれあいを大切にしていきたいと思います。

業務概要

技術系のまとめ役として以下の業務に取り組んでいます。

- ・発電所全体の建設計画立案
- ・更なる安全性向上や新技術導入に関する検討
- ・建物や設備等の配置に関する検討
- ・国への設置変更許可申請に向けた準備



意気込み

〈横浜町出身の杉山メンバーより〉

東通村の方々に安心して頂けるような、世界一安全な原子力発電所の建設を目指し、高い技術力を日々身につけていきます!

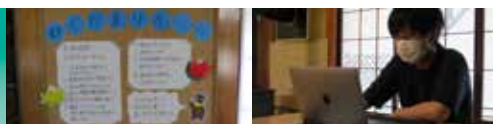


☆お知らせ☆
次号では
「地域コミュニケーション室」
を紹介します

※撮影のため、一時的にマスクを外しております

東通村を知りたい ～人材育成編～

「はくむ」人にクローズアップ!!地域で頑張っている方を紹介します。



地域×若者×企業
“移住決意と地域づくり”
私の挑戦!

一般社団法人 tsumugu
代表理事
小寺 将太 さん

札幌市出身の小寺さんは、東通村内へ移住し、実践型「インターンシップ」の企画や、地域・若者・企業を巻き込んだ「地域づくり」に奮闘しています。今回は、その経緯や思いを取材しました!

Q. 移住された経緯は?

弘前大学に在学中、下北駅よりヒッチハイク等を行い、東通村を訪れ、東通村の温かい人達にふれ、その魅力のとりこになりました。大学院を卒業後は、「青森県を挑戦する場に!」をモットーに2018年に東通村へ移住し、「tsumugu(つむぐ)」を立ち上げました。

Q. 日頃、どのような取り組みをしているのでしょうか?

下北地域において、インターンシップ(就業体験)の企画や支援をしています。起業してまだ間もないですが、県内外の多くの学生を受け入れ、企業や地元で体験してもらってます。卒業してから、下北地域へ就職する学生も出てくれてうれしい限りですね。

Q. 今年はコロナ禍にあって、ご苦労も多いと思いますが。。。

コロナの影響によって、学生が地域に出られないという課題があります。しかし、コロナ禍においても、学生と地域の接点づくりを育むため、今年度はフルリモートでのオンラインインターンシップを推進しています。

Q. 最後に、今後の展望は?

今後も引き続き、下北地域を中心に地域と若者をつなぐ事業を展開していきます。下北が、若者にとって挑戦したくなる地域となるようにがんばっていきます!



東通スゴロクづくりイベント



オンライン授業



べこもちづくり



〈一般社団法人 tsumugu〉
〒035-0004 青森県下北郡東通村大字蒲沢字上田沢27-1
連絡先:090-2693-4219 メール:tsumugu@cosmoltd.co.jp

地域イベントへの参加について

6月 横浜町清掃活動
海岸沿いでゴミを拾いました。



たくさん汗をかきました!

7月 老部川清掃活動
河川沿いでゴミを拾いました。



丁寧にゴミを拾いました!

9月 『ひがしどおりボンマルシェ』に参加しました
コロナ対策に留意しながら、イベントに出店し、多くの皆さまに会場いただきました!



消毒しよう



青森事業本部HP

ゆきしろみずバックナンバー

編集後記

前号では、ハガキを含めQRコードによるアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
本誌の制作を担当しまして、数えるところ6回目の発行となりました。(早いものですね)
引き続き、皆さまにご愛読いただけますよう努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。(ナベ)

